

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 (1)	事業所運営の柱となる理念の取組内容と取り組む機会に職員が共有し実践に取り入れられることを期待したい。	理念を職員が共有し、実践に取り入れる。	理念についてミーティングの際に確認(1回)定期的に精査点検する	1ヶ月
2	26 (10)	介護計画の目標達成に向けてモニタリングの記録方法等工夫し介護計画に基づくケアの実践がより明確にできることを期待したい。	目標達成に向けて、モニタリングの記録を明確にする。	目標を具体化し、記録方法、見やすい場所に置き、ケアの介護計画に基づいて実践できるように。毎日のミーティングの中で確認していく	1ヶ月
3	6 (5)	「利用者の安全を確保し(自由の暮らし)に職員が振り下り、拘束期間も本人の状態を十分観察する等、身体拘束を(ケア)実現を期待したい。	身体拘束を(ケア)の実現	安全と自由を確保(だから、家族と整に連絡をとり、期間、具体的に目標を立てる。変化に対応(だから、毎日のミーティングの中でより積極的に取り組む努力をする)	6ヶ月
4	11 (7)	職員と共に築く運営体制を作すために、2点に意識(1)面談等の対策を検討するに期待したい。	運営体制は職員と共につくる。	面談の機会を設け、運営体制について個々の意見と聞き、運営に反映するよう努める。	2ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。